

小学校社会科学学習指導案

尾道市立向東小学校

教諭 千鶴 哲弘

1 学年 第6学年

2 単元 徳川家光と江戸幕府

3 単元について

(1)単元観

本単元は、徳川家光が徳川幕府を長く続かせるためにどのような政策をしたかについて学習させるものである。その中で社会的な見方や考え方である概念的知識「権力者は、対抗する勢力をおさえ、財力をつける。」を児童に習得させることができる重要な単元である。小学校学習指導要領社会（平成20年）の各学年にわたる内容の取扱いと指導上の配慮事項においても「社会的な見方や考え方を養われるようにすること。」と示されている。参勤交代や鎖国などの政策から権力者の意図をつかませることで、社会的な見方や考え方を養いたい。

(2)児童観

本学年の児童は、歴史学習に対して意欲的に発言したり、調べ学習をしたりして取り組んでいる。しかし、教科書や資料の記述を覚えるだけにとどまり、概念的知識を発見したり、それをもって他の事象を見たりすることができにくい。

(3)指導観

指導にあたっては、「なぜ、幕府は参勤交代をさせたのだろう。」など、「なぜ」を繰り返し問う中で、グラフや地図などの基礎的資料を用いる。そして、「必要な資料を収集・選択したり、吟味したりする。」など、小学校学習指導要領解説社会編（平成20年）に示された基礎的資料の効果的な活用例を基に活用させ、概念的知識「権力者は、対抗する勢力をおさえ、財力をつける。」を習得させていく。基礎的資料は、概念的知識を児童自らが発見できるように焦点化したわかりやすいものを用いる。

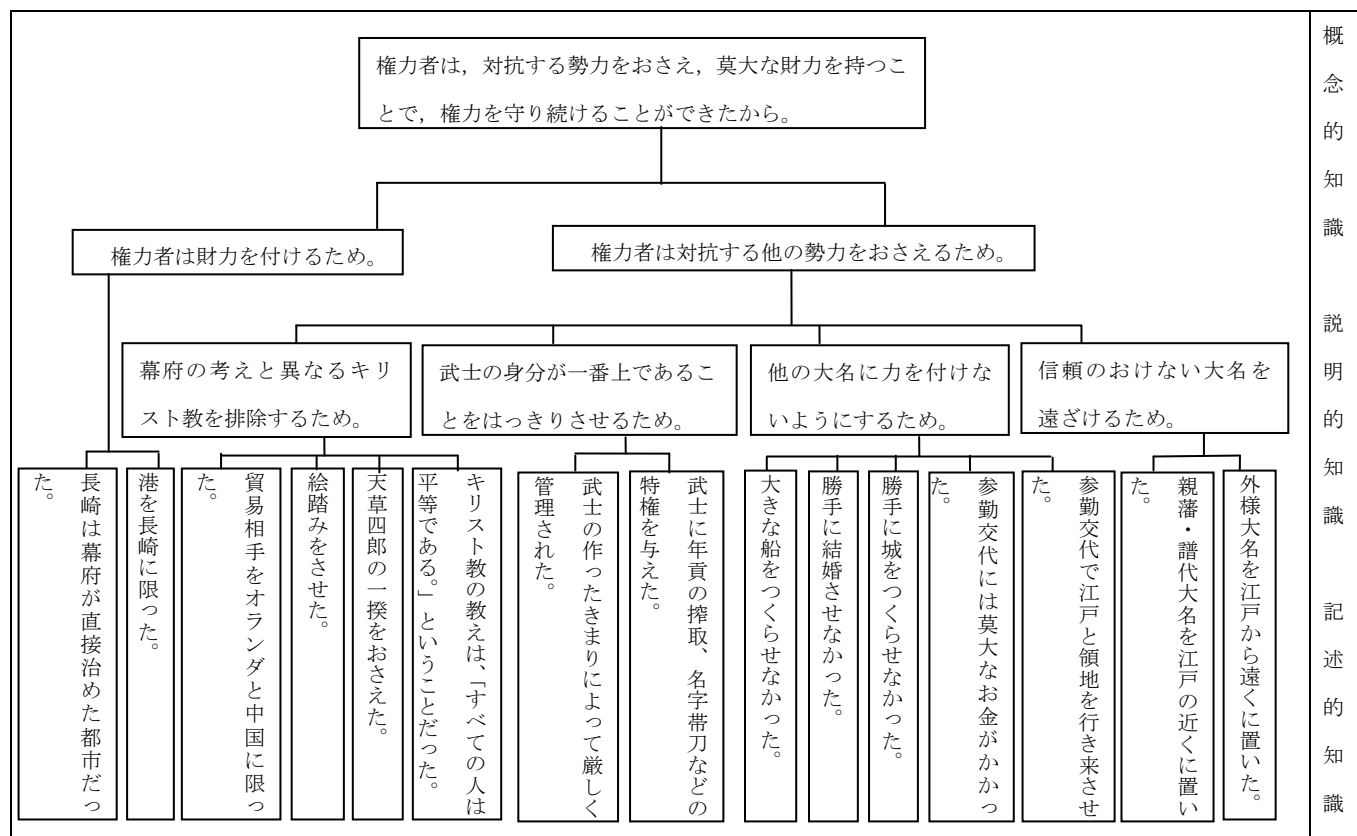
4 単元の目標

- ① 大名配置、参勤交代や武家諸法度、身分制、キリスト教の禁止、鎖国を通して、概念的知識「権力者は対抗する勢力をおさえる」を発見できる。
- ② 鎖国を通して、概念的知識「権力者は財力をつける」を発見できる。
- ③ ①と②の概念的知識を使って、徳川幕府が260年も続いた理由を説明できる。

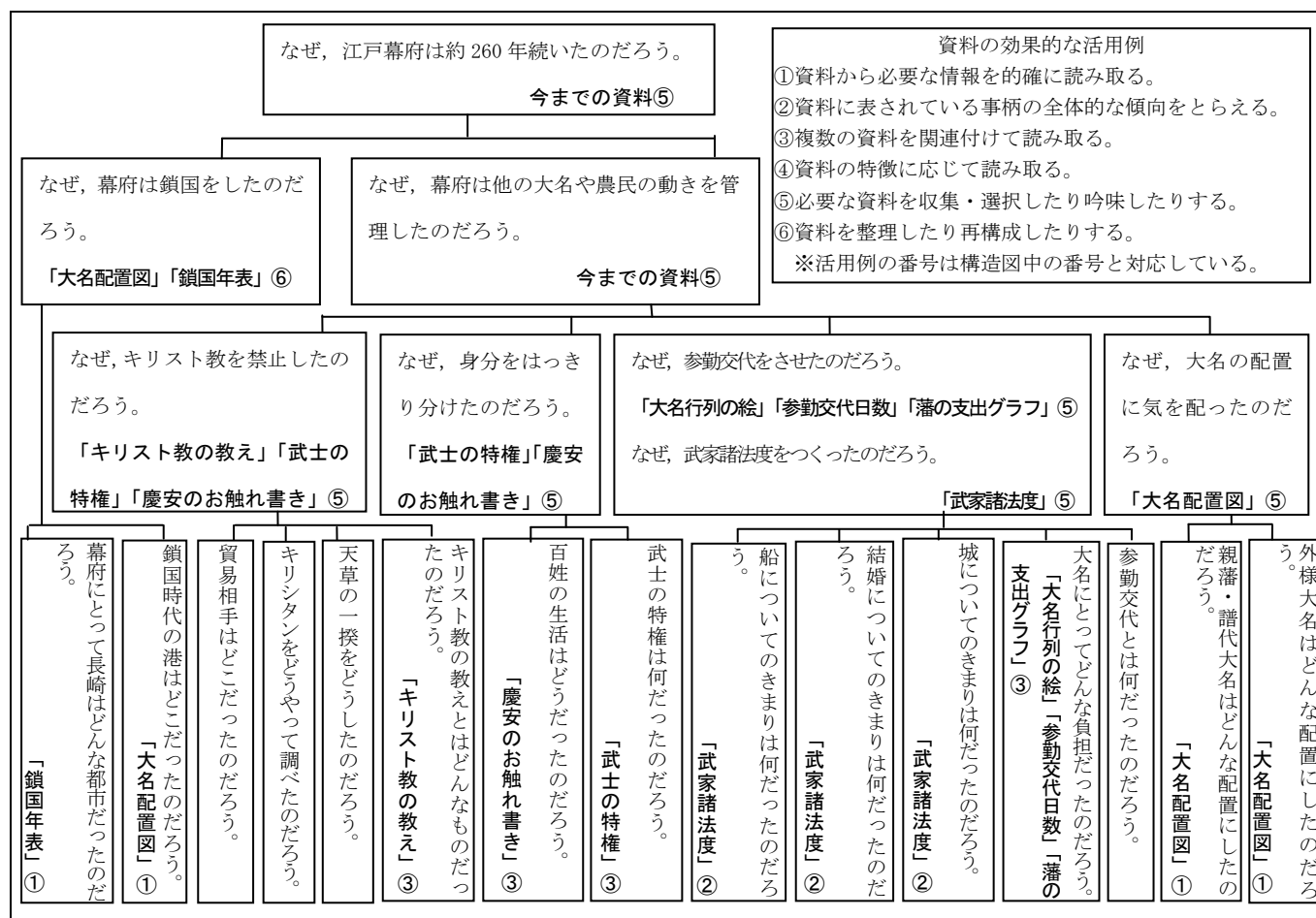
5 単元の指導計画（全8時間）

- | | | |
|---------|-------|-----|
| ① 課題設定 | ----- | 1時間 |
| ② 幕府の政策 | ----- | 6時間 |
| ③ まとめ | ----- | 1時間 |

6 「知識の構造図」と「問いと資料の効果的な活用を示す構造図」



知識の構造図



問いと資料の効果的な活用を示す構造図

7 単元の評価規準

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
○徳川幕府を長く続けようとしている政策について意欲的に調べ、学習している。	○江戸幕府の意図について、様々な事実から考察している。	○江戸幕府の意図を基礎的資料から読み取り、ノートやワークシートに表現する。	○概念的知識「権力者は対抗する勢力をおさえ、財力をつける。」を習得している。

8 単元の指導計画(全8時間)

時	学習内容	主な基礎的資料と効果的な活用	評価規準				評価規準と評価方法
			関	思	技	知	
1	課題設定 なぜ、徳川幕府が260年も続いたのかを考えよう。	・「教科書と資料集」から必要な情報を的確に読み取る。	◎		○		ア 教科書や資料から、意欲的に課題を見つけている。 ウ 資料から必要な事柄を的確に読み取っている。 (ワークシート)
2	なぜ、幕府は大名の配置に気を配ったのだろう。	・「大名配置図」から必要な情報を的確に読み取らせ、吟味させる。		◎	○		イ 信用できない大名は遠ざけて配置していることについて考察している。 ウ 資料から必要な事柄を的確に読み取っている。 (ワークシート、発表、行動観察)
3	なぜ、幕府は大名に参勤交代をさせたのだろう。	・「参勤交代でかかる日数の地図」「大名行列の絵」「金沢藩の支出の円グラフ」を関連付けて読み取らせ、吟味させる。		◎	○		イ 大名に財力を付けさせないようにしていることについて考察している。 ウ 資料を関連付けて読み取っている。 (ワークシート、発表、行動観察)
4	なぜ、幕府は武家諸法度を作ったのだろう。	・「武家諸法度の文書」に表されている事柄の全体的な傾向をとらえさせ、吟味させる。		◎	○		イ 大名に力を付けさせないようにしていることについて考察している。 ウ 資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえている。 (ワークシート、発表、行動観察)
5	なぜ、幕府は身分制を強化したのだろう。	・「武士の特権」「慶安のお触れ書き」を関連付けて読み取らせ、吟味させる。		◎	○		イ 農民の力をおさえ、武士の力を示すためであることについて考察している。 ウ 資料を関連付けて読み取っている。 (ワークシート、発表、行動観察)
6	なぜ、幕府はキリスト教を禁止したのだろう。	・「キリストの教えの文書」「武士の特権」「慶安のお触れ書き」を関連付けて読み取らせ、吟味させる。		◎	○		イ 大名や農民たちが幕府の考えと異なるキリストの考えを信じ、力をつけることを恐れたためであることについて考察している。 ウ 資料を関連付けて読み取っている。 (ワークシート、発表、行動観察)

7	なぜ、幕府は鎖国をしたのだろう。	・「大名配置図」「鎖国年表」から必要な情報を的確に読み取らせ、再構成させる。		◎	○		イ 幕府が貿易を独占し、財力をつけたことについて考察している。 ウ 資料から必要な事柄を的確に読み取っている。 (ワークシート、発表、行動観察)
8	まとめ なぜ、江戸幕府は260年も続いたのだろう。	・今までの資料から、必要な資料を収集・選択したり吟味したりする。			○	◎	ウ 必要な資料を収集・選択したり吟味したりしている。 エ 幕府が他の勢力をおさえ、莫大な財力を持ち続けたことについて理解する。 (ワークシート、発表、行動観察)

9 学習展開

1 時間目

○ねらい

教科書や資料から必要な情報を的確に読み取り、本単元において学習したい課題を考える。

	発問・説明・予想される児童の反応	指導上の留意点	資料と活用	評価規準と評価方法
導入	・江戸幕府の長さを安土・桃山時代と比べてみよう。この1枚が安土・桃山時代です。江戸の長さはこれだけです。何倍ぐらいありますか。 「9倍」 「こんなに長さが違うんだね。」 「長く続いたんだなあ。」	安土・桃山時代の長さと江戸時代の長さを視覚的に比較することで、江戸時代の長さに驚きをもたせ、興味・関心を引く。	安土桃山時代の長さを表すB4用紙1枚、江戸時代の長さを表すB4用紙×9枚	
展開	・江戸時代は約260年も続きました。なぜ、こんなに長く続いたのでしょうか。江戸時代についていろいろ調べていくとわかるかもしれませんね。 ・今から教科書や資料をもとに、「なぜだろう。」と思ったことをどんどん書き出しましょう。	教科書と資料集から調べていき、考えて考え、ワークシートに書かせる。	「教科書」 「資料集」 ・必要な事柄を的確に読み取る。	ア 教科書や資料から、意欲的に課題を見つけている。 ウ 資料から必要な情報を的確に読み取っている。 (ワークシート)
終末	・では集めます。次の時間から、みんなの課題を解決していきましょう。			

2 時間目

○ねらい

「大名配置図」から必要な情報を的確に読み取り、幕府が信用のおけないものを遠くに置いていることについて考察する。

	発問・説明・予想される児童の反応	指導上の留意点	資料と活用	評価規準と評価方法
導入	・今日からみんなから出た課題を解決していきましょう。今日は、「なぜ、幕府は大名配置に気を配ったのでしょうか。」です。この地図を見ましょう。 「全国に大名がいる。」 「大名にも種類があるね。」	「大名配置図」を提示し、記号がそれぞれ何を表しているかを確認する。	「大名配置図」	
展開	・親藩とは何ですか。 「將軍の親戚。」 ・譜代大名は何ですか。 「ずっと家来だった大名。」 ・外様大名は何ですか。 「関ヶ原の戦いから家来になった大名。」 ・この配置の仕方では気付いたことはありませんか。 「大名の位置に差がある。」 「江戸から離れて外様大名がいる。」 「江戸の近くには親藩や、譜代大名がいるね。」 「外様大名の中にも親藩や譜代大名がいるよ。」 ○なぜ、このような配置にしたのでしょうか。 「親藩や譜代大名は信頼できるけど、外様大名はもともと敵だったので近くに置きたくなかったから。」 ・親藩や譜代大名は信頼がおけるけど、外様大名は、以前は敵だったので、信頼がおけなかったからですね。それから外様大名の近くに親藩や譜代大名を置いています。これは外様大名が反乱を企てないように見張りをさせていたのです。	「親藩」「譜代大名」「外様大名」という言葉については、教科書や資料集から調べさせる。 江戸の近くに親藩・譜代大名を置き、遠くに外様大名を置いていることに気付かせる。 意見が出にくい場合は、將軍のいる江戸を中心にどういう配置になっているかを考えさせる。	「大名配置図」 ・必要な情報を的確に読み取る。	イ 信用できない大名は遠ざけて配置していることについて考察している。 ウ 資料から必要な情報を的確に読み取っている。 (ワークシート、発表、行動観察)
終末	・今日のまとめを書きましょう。 ・次は、参勤交代について学習しましょう。			

3 時間目

○ねらい

「大名行列の絵」「参勤交代でかかる日数」「金沢藩の支出の円グラフ」の資料を関連付けて読み取り、幕府が他の大名に財力を付けさせないようにしていることについて考察する。

	発問・説明・予想される児童の反応	指導上の留意点	資料と活用	評価規準と評価方法
導入	- 今日は、「なぜ、幕府は参勤交代をさせたのでしょうか。」について学習します。この絵を見てください。 「たくさんの人だな。」 「槍とか持っているね。」 「かごに乗っているのはだれかな。」	資料を提示し、興味・関心を引きかせるとともに、たくさんの人が移動していることに気付かせる。	「大名行列の絵」	
展開	- 参勤交代は大名にどんなことをさせることですか。 「1年おきに江戸と領地を行き来させること。」「江戸では城や川の修理をさせる。」 ○なぜ、幕府は参勤交代をさせたのでしょうか。これらの資料をもとに考えましょう。 「お金をたくさん使わせるため。」 「宿代とかすごくかかりそう。」 「大名を疲れさせるため。」 - なぜ、幕府は大名にお金を使わせたのでしょうか。 「力を付けさせないため。」 「外様大名は遠いから、お金をどんどん使うのではないかな。」 - なぜ、幕府は他の大名に力を付けさせないのでしょうか。 「幕府に反抗することができないようにするため。」 - 幕府はお金を使わせて、財力をつけないようにしたのです。財力がなかったら反抗できないですからね。	教科書や資料を読み、分かったことをワークシートに書かせる。 「参勤交代でかかる日数の地図」「金沢藩の支出の円グラフ」を提示し、ワークシートに分かったことを書かせる。たくさんのお金と莫大なお金が使われていることに気付かせる。	「参勤交代でかかる日数」「金沢藩の支出の円グラフ」 ・複数の資料を関連付けて読み取る。	イ 大名に財力を付けさせないようにしていることについて考察している。 ウ 資料を関連付けて読み取っている。(ワークシート、発表、行動観察)
終末	- 今日のまとめを書きましょう。 - 次は、参勤交代が書かれている武家諸法度について学習しましょう。			

4 時間目

○ねらい

「武家諸法度」の資料に表されている全体的な傾向をとらえ、幕府が他の大名に力を付けさせないようにしていることについて考察する。

	発問・説明・予想される児童の反応	指導上の留意点	資料と活用	評価規準と評価方法
導入	- 今日は、「なぜ、幕府は武家諸法度を出したのでしょうか。」について学習します。この文書を読みましょう。 「なぜ、幕府の許可がいるのだろう。」 「なぜ、大きな船を作ったらいけないのだろう。」	武家諸法度を提示して読ませ、感想や疑問を出させる。	「武家諸法度の文書」	
展開	- なぜ、勝手に結婚をさせないのでしょうか。 「結婚すると、大名同士が仲良くなるから。」 - なぜ、仲良くなったらいけないのでしょうか。 「協力し合って、幕府より強くなったらいけないからかな。」 - なぜ、勝手に城を新しくつくったり、修理したりしてはいけないのでしょうか。 「城をこっそり大きくするからかな。」 - なぜ、城を大きくしたらいけないのでしょうか。 「城が大きくなると、その大名の力も強くからかな。」 - なぜ、大きな船を造ってはいけないのでしょうか。 「武器とか載せて、強くなるからかな。」 ○なぜ、幕府は武家諸法度を作ったのでしょうか。参勤交代のことも考えてノートに書きましょう。 「強くならないようにするため。」 「幕府よりも力を持たせないようにするため。」 - 幕府は武士のきまりである武家諸法度を作って、力をつけないようにしたのです。	武家諸法度の項目ごとに「なぜ」を問うことで考えさせる。 前時の参勤交代で学習したことを想起させながら考えさせる。 他の大名が幕府よりも強くなることを恐れていることに気付かせる。	「武家諸法度の文書」 資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえる。	イ 大名に力を付けさせないようにしていることについて考察している。 ウ 資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえている。 (ワークシート、発表、行動観察)
終末	- 今日のまとめを書きましょう。 - 次は、江戸時代の身分について学習しましょう。			

5時間目

○ねらい

「慶安のお触れが書き」「武士の特権」の資料を関連付けて読み取り、幕府が農民をおさえ、武士の力を示していることについて考察する。

	発問・説明・予想される児童の反応	指導上の留意点	資料と活用	評価規準と評価方法
導入	- 今日は、「なぜ、幕府は身分をはっきりと分けたのでしょうか。」について学習します。この図を見ましょう。 「武士はやっぱり城にいるね。何か話合っているよ。」 「町人は職人や商人なんだね。」 「百姓は田植えをしているよ。」	さまざまな身分を示している絵を提示し、その違いについて話し合わせる。	「さまざまな身分の絵」	
展開	- 百姓の生活の心得を読んで、思ったことを発表しましょう。 「贅沢をさせないようにしている。」 「服装まで決まっているよ。」 「1日中働かされている。」 - なぜ、こんな決まりを作ったのでしょうか。 「年貢をしっかりと取るためかな。」 「勝手な行動をとらせないようにするため。」 - 百姓には年貢の他にも、しんどい力仕事をさせていたのです。では、武士はどうだったのでしょうか。この文書を読みましょう。 「農民から年貢を取り上げているよ。」 「武士だけ刀をさせるんだ。」 「武士だけ名字が名乗れるんだ。」 「ずいぶん差があるね。」 「無礼があったら殺してもいいんだ。」 ○なぜ、江戸幕府はこんなに身分をはっきりと分けたのでしょうか。 「武士が一番偉いということをはっきりとわからすため。」 「武士に反抗させないため。」 「年貢をしっかりとるため。」 - 豊臣秀吉は、低い身分から将軍にまでなりました。そのような人物が出てこないようにはっきりと分けたということもあります。	「慶安のお触れ書き」の文書を読ませ、感想を出させる。 「武士の特権」が示された文書を読ませ、感想を出させる。 二つの資料を比較させ、武士と農民の身分をはっきり分けていることに気付かせる。	「慶安のお触れ書き」 「武士の特権」 ・複数の資料を関連付けて読み取る。	イ 農民の力をおさえ、武士の力を示すためであることについて考察している。 ウ 資料を関連付けて読み取っている。(ワークシート、発表、行動観察)
終末	- 今日のまとめを書きましょう。 - 次は、キリスト教を禁止について学習しましょう。			

6 時間目

○ねらい

「基督教の教えの文書」「慶安のお触れ書き」「武士の特権」の資料を関連付けて読み取り、大名や農民たちが幕府の考えと異なるキリストの考えを信じ、力をつけることを恐れていることについて考察する。

	発問・説明・予想される児童の反応	指導上の留意点	資料と活用	評価規準と評価方法
導入	- このグラフは何を表したグラフでしょう。 「なんだろう。」 「江戸時代にいっきに増えているなあ。」 - これは基督教の信者の数です。今日は、「なぜ、幕府は基督教を禁止したのでしょうか。」について学習します。	江戸時代になって急激に増えているのがわかるグラフを提示し、興味・関心をもたせる。	「基督教の信者の数を表す棒グラフ」	
展開	- 幕府が基督教を禁止しているのわかる出来事は何ですか。 「人々が海外に渡るのも、海外から帰るのも禁止した。」 「天草四郎の乱に大軍を送っておさえた。」 「絵踏みをさせて、信者かどうか確かめた。」 「鎖国をして、オランダと中国に限定して長崎で貿易をした。」 - 基督教の教えが書かれた資料を見せます。このことからどんなことが分かりますか。 「キリストの前では、みんなが平等である。」 「幕府の考え方と違うよ。」 - 幕府の考えはどうですか。 「ぜんぜん違う。」 「幕府は身分にすごい差を付けたよ。」 ○なぜ、幕府は基督教を禁止したのでしょうか。 「キリストの教えはみんなが平等なのに、幕府は身分をはっきり分けて差別している。幕府の考えと違うから。」 「天草四郎の乱のように幕府と違う考えをもった人たちが集まって、乱をおこしたらいけないから。」 - 幕府が基督教を禁止したのは、キリストの教えが幕府の考え方と違うからであり、反抗されるのを恐れたからです。	教科書や資料集から調べさせる。 「基督教の教えの書かれた文書」を提示し、感想を出させる。 既習の資料「慶安のお触れ書き」「武士の特権」を用いて、幕府の考えと比較させる。 幕府と違う考えの基督教の信者が力をつけることを恐れていることに気付かせる。	「基督教の教えの書かれた文書」 「慶安のお触れ書き」「武士の特権」 ・複数の資料を関連付けて読み取る。	イ 大名や農民たちが幕府の考えと異なるキリストの考えを信じ、力をつけることを恐れたためであることについて考察している。 ウ 資料を関連付けて読み取っている。 (ワークシート、発表、行動観察)
終末	- 今日のまとめを書きましょう。 - 次は、鎖国について学習しましょう。			

7 時間目

○ねらい

「大名配置図」「鎖国までのあゆみ年表」の資料を関連付けて読み取り，幕府が貿易を独占し，財力をつけたことについて考察する。

	発問・説明・予想される児童の反応	指導上の留意点	資料と活用	評価規準と評価方法
導入	今日は、「なぜ，鎖国をしたのでしょうか。」について学習します。「前の時間に，鎖国はキリストを広めないためという学習をしたよ。他にもあるのかな。」	鎖国について想起させる。	「大名配置図」と「鎖国までのあゆみ年表」	
展開	- 鎖国とは何でしょう。「貿易をオランダと中国に限ること。」「長崎だけで貿易をおこなうこと。」 - 鎖国をした理由として，キリスト教を広めないようにするための他に，もう一つ目的があります。キーワードは貿易です。まず，貿易は，何のためにしますか。「お金儲けをするため。」「外国のいいものを手に入れるため。」「必要なものを手に入れるため。」 ○なぜ，幕府は，鎖国をしたのでしょうか。この地図を見てわかることはありませんか。「鎖国は港を長崎だけにした。地図を見るとその長崎は，幕府が直接治めていた土地。だから，貿易港を長崎にして貿易品とかを独り占めにしたんだ。」「他の大名が貿易できないようにしたんだ。」 - 鎖国は，幕府が貿易を独り占めにして，財力をつけるために行ったのです。他の大名には貿易できないようにしたのですね。	キリスト教を広めないためということを再度確認する。 鎖国にはもう一つのねらいがあったことを知らせ，まず，貿易というものについて考えさせる。 幕府が貿易を独占しようとしていることに気付かせる。意見が出にくい場合は，長崎が幕府の直轄地になっていることに気付かせ，考えさせる。	「大名配置図」と「鎖国までのあゆみ年表」 複数の資料を関連付けて読み取る。	イ 幕府が貿易を独占し，財力をつけたことについて考察している。 ウ 資料から必要な情報を的確に読み取っている。 (ワークシート，発表，行動観察)
終末	- 今日のまとめを書きましょう。 - 次は，今まで学習したまとめをします。			

8時間目

○ねらい

今までの資料から必要な資料を収集選択したり、吟味したりして、幕府が他の勢力をおさえ、莫大な財力を持ち続けたことについて理解する。

	発問・説明・予想される児童の反応	指導上の留意点	資料と活用	評価規準と評価方法
導入	今日は今までの学習のまとめをします。「江戸幕府はなぜ、260年も続いたのでしょうか。」について学習します。			
展開	○なぜ、江戸幕府は、260年も続いたのでしょうか。今までの資料を見たり、今までのまとめを見たりして、ワークシートに書きましよう。 「武家諸法度や慶安のお触れ書きから、他の大名や農民とかに反抗できないようにさせたよ。」 「大名配置図から、鎖国をして、貿易を独り占めしたことがわかったよ。」 - なぜ、幕府は、反抗させないようにしたのでしょうか。 「大名たちが力をつけて、幕府をやっつけにきたらいけないから。」 - なぜ、幕府は、貿易を独り占めにしたのでしょうか。 「自分だけ財力を付けたいから。」 - 江戸幕府は、他の大名の力をおさえたことと、財力を持ち続けたことから、260年も続くことができたのです。	今までの資料を提示し、学習を想起させる。 どの資料から何が分かったのかを発表させる。 徳川幕府が260年続いたのは、他の大名の勢力をおさえ、莫大な財力を持ち続けたからということについて理解する。	今までの資料 必要な資料を収集選択したり、吟味したりする。	ウ 必要な資料を収集・選択したり吟味したりしている。 エ 幕府が他の勢力をおさえ、莫大な財力を持ち続けたことについて理解する。（ワークシート、発表、行動観察）
終末	今日のまとめを書きましよう。			